

日本皮膚科学会・雑誌論文賞歴代受賞者

令和2年度現在

No.	年	論文名および掲載誌	著者	所属
1	平9	HIV感染者における Kaposi 肉腫-20 例の臨床的、組織学的検討- 日本皮膚科学会雑誌,106(8):1071-1082,1996.	赤城 久美子	都立駒込
2	平10	病院職員 14 名にみられたパルボウイルス B19 感染症-風疹の鑑別疾患としての重要性について- 日本皮膚科学会雑誌,107(5):623-629,1997.	田嶋 徹	慈恵医大
3	平11	電気メスによると考えられる術後臀部皮膚障害 日本皮膚科学会雑誌,108(13):1863-1870,1998.	林 伸和	関東通信
4	平12	Vibrio vulnificus 感染症-診断と治療のフローチャートの試み- 日本皮膚科学会雑誌,109(6):875-884,1999.	古城 八寿子	熊本中央
5	平13	Hair-discoloration of Japanese elite swimmer The Journal of Dermatology,27(10):625-634,2000.	南光 弘子	東京厚生年金
6	平14	全身性強皮症の臨床像と特異抗体の関連-自験例 158 例の検討- 日本皮膚科学会雑誌,111(5):827-836,2001.	秋元 幸子	群馬大
7	平15	北海道のマダニ刺咬症 -ライム病発症との関連- 日本皮膚科学会雑誌,112(11):1467-1473,2002.	橋本 喜夫	旭川医大
8	平16	糖尿病性足病変患者の生命予後 -自験例 140 例の臨床像と予後因子の検討- 日本皮膚科学会雑誌,113(2):135-144,2003.	宮島 進	大阪厚生年金
9	平17	悪性黒色腫の sentinel node biopsy および病理組織学的検討 日本皮膚科学会雑誌,114(1):15-24,2004.	野呂 佐知子	国立がんセンター中央
10	〃	Negative Feedback Regulation of Phosphatidylinositol 3-Kinase/Akt Pathway by OverExpressed Cyclooxygenase-2 in Human Epidermal Cancer Cells, The Journal of Dermatology,31 (7):516-523,2004.	武田 浩一郎	鹿児島大
11	平18	本邦における Drug-induced heypersensitivity syndrome 94 症例の臨床的検討-HHV-6 陽性例と陰性例の比較検討- 日本皮膚科学会雑誌,115(12):1779-1790,2005.	中村 和子	横浜市大
12	〃	Impaired Contact Hypersensitivity Reactions and Reduced Production of Vascular Endothelial Growth factor in Tumor Necrosis Factor- α Gene-Deficient Mice, The Journal of Dermatology,32(7):523-533,2005.	柴田 真里	昭和大
13	平19	乾癬特異的 QOL 指標 Psoriasis Disability Index (PDI) 日本語版の開発と信頼性・妥当性の検討 日本皮膚科学会雑誌,116(11):1583-1591,2006.	福地 修	慈恵医大
14	〃	Vaccination of Japanese patients with advanced melanoma with peptide, tumor lysate or both peptide and tumor lysate-pulsed mature, monocyte-derived dendritic cells. The Journal of Dermatology,33(7):462-472,2006.	中井 章淳	京都府医大
15	平20	頭部脈管肉腫における血管新生因子の役割 日本皮膚科学会雑誌,117(11):1727-1735,2007.	天羽 康之	北里大
16	〃	Efficacy of interferon-g in patients with refractory bullous pemphigoid. The Journal of Dermatology,34(11):737-745,2007.	名嘉真 武国	久留米大

日本皮膚科学会・雑誌論文賞歴代受賞者

令和2年度現在

No.	年	論文名および掲載誌	著者	所属
17	平 21	皮膚科外来手術患者の術後早期入浴－手術部位感染との関連についての検討－ 日本皮膚科学会雑誌,118(10):1947-1952,2008.	高橋 明仁	新潟県立がんセンター
18	〃	Six novel mutations of the ADAR1 gene in patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria : Histological observation and comparison of genotypes and clinical phenotypes. The Journal of Dermatology,35(7):395-406,2008.	近藤 泰輔	名古屋大
19	平 22	国立がんセンター中央病院における血管肉腫 37 例の統計学的検討 日本皮膚科学会雑誌,119(7):1245-1253,2009.	上原 治朗	旭川医大
20	〃	Scalp dermoscopy of androgenetic alopecia in Asian people. The Journal of Dermatology,36(2),82-85,2009	乾 重樹	大阪大
21	平 23	抗血小板薬内服下の皮膚科小手術の安全性に関する検討 日本皮膚科学会雑誌,120(1):15-21,2010.	石塚 洋典	筑波大
22	〃	New non-invasive method for evaluation of the stratum corneum structure in diseases with abnormal keratinization by immunofluorescence microscopy of desmoglein 1 distribution in tape-stripped samples. The Journal of Dermatology.37(10),873-881,2010.	雄山 瑞栄	新生会八幡
23	平 24	RI・色素法併用によるセンチネルリンパ節生検を施行した皮膚悪性腫瘍135例の検討 日本皮膚科学会雑誌,121(11):2265-2271,2011.	川村 龍吉	山梨大
24	〃	Analysis of dermatomyositis-specific autoantibodies and clinical characteristics in Japanese patient The Journal of Dermatology, 38(10):973-979, 2011.	池田 信昭	横浜市大
25	平 25	術後補助療法 (DAV-Feron, フェロン療法, フェロン維持療法) は悪性黒色腫ステージII・III患者の予後を改善するか: 831例の解析 日本皮膚科学会雑誌,122(9):2305-2311,2012.	藤澤 康弘	筑波大
26	平 26	牛肉アレルギー患者20 例の臨床的および血清学的解析 日本皮膚科学会雑誌,123(9):1807-1814,2013.	千貫 祐子	島根大
27	平 27	Intravascular large B-cell lymphoma疑診例に対して施行したランダム皮膚生検33名の検討 日本皮膚科学会雑誌,124(7):1305-1311,2014.	辻脇 真澄	北海道大
28	平 28	咽頭ぬぐい液からの風疹ウイルスゲノム検出法は麻疹や薬疹との早期鑑別に有用である 日本皮膚科学会雑誌,125(5):1017-1028,2015.	今泉 牧子	昭和大
29	平 29	Real-time PCR および nested PCR 法を用いたリケッチア症迅速診断の有用性: 島根県における 11 症例の検討 日本皮膚科学会雑誌,126(11),2117-2126,2016.	新原 寛之	島根大
30	平 30	強皮症腎クリーゼにおける前駆症状 日本皮膚科学会雑誌, 127(6),1323-1330,2017.	木村 浩	加賀市医療センター

日本皮膚科学会・雑誌論文賞歴代受賞者

令和2年度現在

No.	年	論文名および掲載誌	著者	所属
31	令和元	ニボルマブ投与後の他剤による薬疹の検討 日本皮膚科学会雑誌, 128(10), 2109-2116, 2018.	新川 衣里子	神戸大
32	令和2	皮膚科医による基底細胞癌の側方マージン設定の正確性に関する検討 日本皮膚科学会雑誌, 129(10), 2157-2164, 2019.	齋藤 晋太郎	群馬大